

ネットワークの形成により物流事業者の輸送効率化と生産性が向上

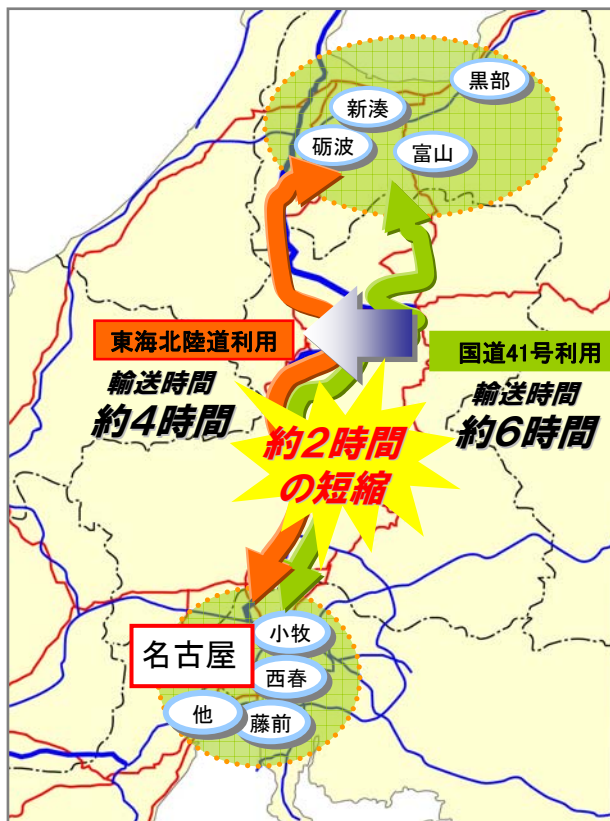
◆東海北陸自動車道全線開通により物流工程が短縮し、生産性が向上

東海北陸自動車道開通により、配送ルートを変更

◇富山⇔名古屋便の所要時間が片道約2時間短縮。

【全通前】国道41号(片道約6時間)

【全通後】東海北陸道(片道約4時間)



往復工程が3日から2日に短縮！(輸送効率化)
車両稼働率が約1.5倍に向上！(生産性向上)

◇時間短縮により、出発時間や到着時刻に余力が生じた分、他の作業での車両稼働率の向上を図ることが可能になり、輸送効率の最適化が実現。

◇富山⇔名古屋便の往復工程が3日から2日に短縮。

◇輸送効率化により、車両稼働率が約1.5倍に向上し、物流業務全体としての生産性が向上。

